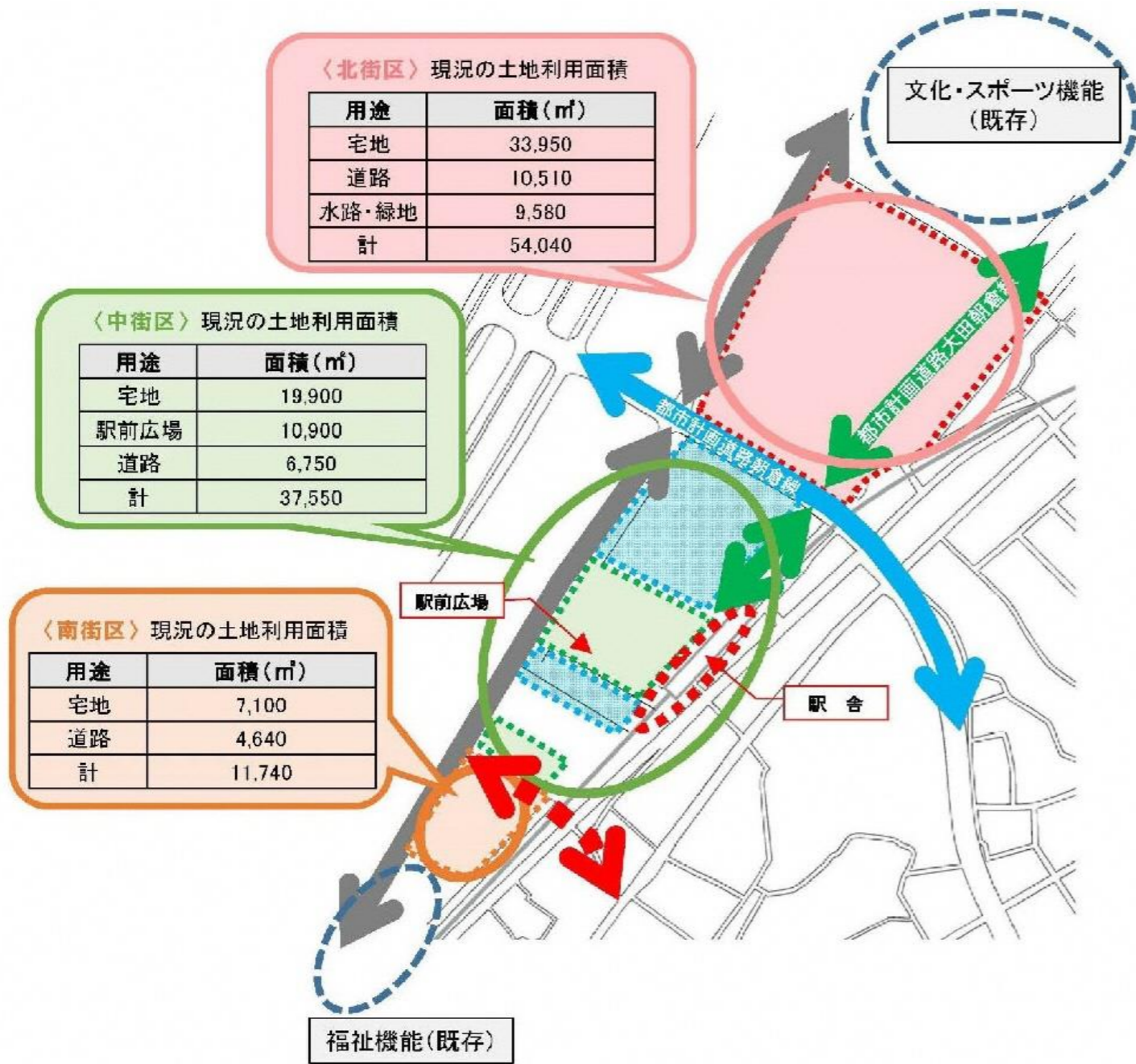


2 図書館整備に関する概要について

(1) 整備候補地について

① 整備候補地の位置

- 図書館の整備候補地は、朝倉駅周辺整備事業の対象地区（朝倉駅西側の市有地約 10ha）のうち、**現市役所が位置する「北街区」**を想定しています。



朝倉駅周辺整備事業の街区区分図

② 整備候補地の方針等

ア 北街区

〈整備方針〉

市民の多様なニーズに応えられる **商業・交流・にぎわい拠点**

〈導入機能と施設のイメージ〉

導入機能	導入機能のイメージ	施設のイメージ
複合商業機能	○ 3街区中最大の面積を活用した商業機能を核に、隣接する文化・スポーツ施設と連携し、多くの市民が集い・楽しめる、にぎわいとくつろぎの空間	○ 飲食・物販 ○ メディカルモール 等
文化機能	○ 飲食・物販、文化・スポーツ、アミューズメント、医療といった生活利便性の高い商業交流拠点 ○ 図書館は、コーヒーを飲んだり、飲食したりできるアミューズメントのひとつとして、にぎわいに寄与する	○ 図書館 ○ カルチャーセンター 等
広域圏に向けた情報発信機能	○ 商業機能に合わせて、地域の物産品等に係わる情報を発信し、全国的な視野で、地域情報を交換・発信する	○ 地域の物産・交流コーナー 等
休憩機能	○ 市民が快適に交流し、憩えるように、緑を活かした優れた景観やゆとりある歩行者空間（滞留広場、休憩スペース等）を積極的に確保する	○ 公園 ○ 広場 ○ オープンスペース 等
駐車場・自転車駐車場等の交通結節機能	○ 円滑な駐車環境に配慮した駐車容量を確保する ○ 北街区と中街区を安全に移動できる歩行者通路などを確保する	○ 中街区で不足する駐車場を整備 ○ 歩道橋 等

※上記の内容は関係者の意向等も踏まえ、今後変更になる可能性があります。



図書館のイメージ



商業施設と休憩施設のイメージ

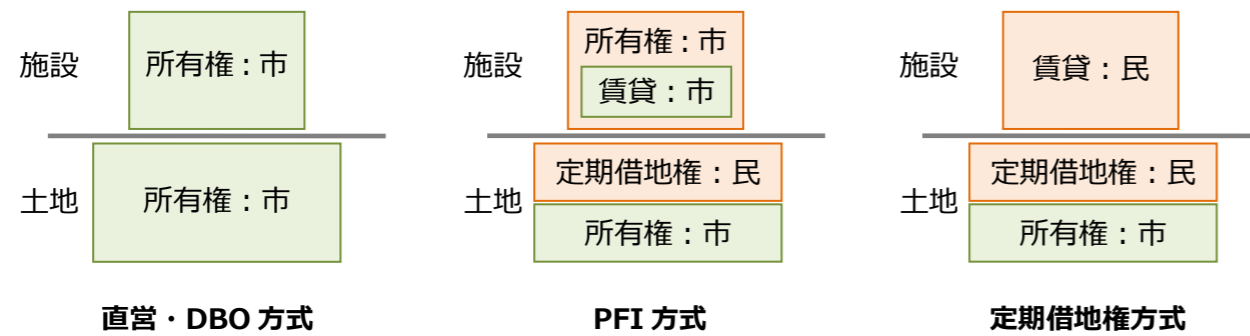
(2) 事業手法について

- 中央図書館の運営・維持管理は現在、指定管理者制度を導入しています。**新たな図書館の施設整備・運営・維持管理においても、公民連携による実施を視野に入れて検討**していきます。
- PFI 方式^{*1}などの公民連携手法は、**建物の設計から運営・維持管理までを一括発注し、長期契約**とすることで、**事業コストの削減や、質の高い公共サービスの提供**が期待できます。
- 具体的な事業手法については、土地・建物の所有、コスト、事業期間、資金調達の主体などを十分に検討した上で、事業効果の最も高いものを選択します。

< 主な事業手法の比較 >

事業手法	公設公営	公設民営	民設民営		
	直営方式 (従来方式)	DBO 方式 ^{*2} 等	PFI 方式		公有地活用事業 (定期借地権方式等)
			BTO 方式	BOT 方式	
行政・民間の役割					
民間活力度合い	低	→ 高			
資金調達	市	市	民間	民間	民間
設計・建設	市	民間	民間	民間	民間
運営	市	民間	民間	民間	民間
土地の所有	市		市 (定期借地権設定等)		
施設の所有	市	市	市 (建設期間中は民間)	民間 (契約期間中は民間)	民間

■ 土地と施設の所有のイメージ

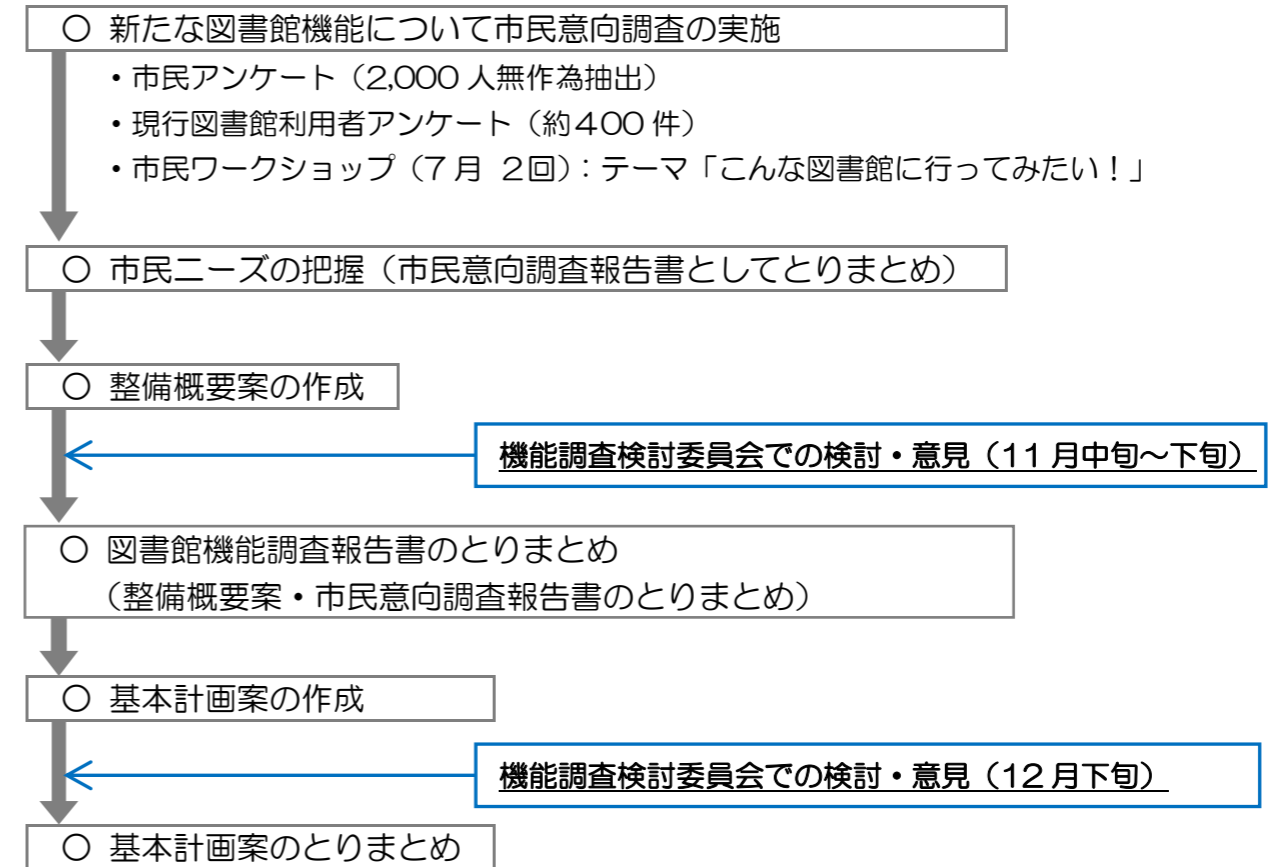


■ 用語の解説

PFI (Private Finance Initiative)	施設の設計・建設・維持管理・運営を、民間の資金や経営能力、技術的能力などのノウハウを活用して行う事業手法（BTO、BOT など）
BTO (Build Transfer Operation)	民間が公共施設を整備した後、施設の所有権を公共に移転したうえで、民間が施設の維持管理・運営を行う事業手法
BOT (Build Operation Transfer)	民間が公共施設等を整備し、一定期間施設を維持管理・運営した後、その施設の所有権を公共に移転する事業手法
DBO (Design Build Operation)	性能発注により、民間が公共施設等の設計・建設・維持管理・運営を一括して行い、施設の所有、資金調達は公共で行う事業手法

(3) スケジュールについて

平成 30 年度



平成 31 年度

